

3 かがしま県民大学連携講座

1 概要

(1) 趣旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるために、大学等などの教育機関、市町村等の公的機関、民間の団体等と中央センターが連携して、生涯学習の機会を広く提供するために公開講座等を実施する。

(2) 対象者

県民(年齢は問わない)

(3) 連携可能な機関・団体等

次のいずれかに該当するもの。

- ・ 大学，短期大学，高等専門学校，専修・各種学校
- ・ 国・県及び市町村等の公的機関
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する民間教育機関の事業者
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人
- ・ 中央センター主催講座修了生等が結成した自主活動グループ
- ・ その他，生涯学習の推進に資する団体

(4) 申請できる講座の条件

次に示す内容のうちいずれかに該当するもの。

- ・ 申請者の独自性・専門性を生かした内容のもの
- ・ 県民のニーズの高いもの
- ・ 郷土鹿児島の地域性のあるもの
- ・ 社会的に必要と思われる内容

ただし、次の内容を含む講座は除く。

- ・ 営利を目的とする講座(事業や物品の広報，人材の勧誘や募集活動等も含む。)
- ・ 特定の政党，宗教，宗派の利害を目的として開催される講座
- ・ 公序良俗に反する講座

(5) 会場

交流センター及びその他の会場

(6) 会場使用料

交流センターを使用する場合は、「かがしま県民交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則第9条第1項第1号」により使用料全額免除とする。その他の会場で開催する場合は、申請者の負担とする。

(7) 受講料

受講料は、著しく高額とならないことを基本とし、中央センターとあらかじめ協議を行って決定する(必要な材料費，テキスト代等の実費は、受講者負担とすることができる)。

(8) 開催時間等

連携講座実施機関の設定した時間(但し、交流センターの閉館日を除く。)

2 講座内容等一覧

(1) 大学等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数	
								小計	合計
1	鹿児島大学	1	楽しい合唱表現～リラックスして表現しよう～	5/25(水)～ 6/22(水)	4	スタジオ	各 20	43	66
		2	星のでき方, 作り方	6/18(土)	1	大研3	60	23	
		3	中止		1				
		4	中止		1				
2	鹿屋体育大学	5	みんなで貯筋	11/15(火)	1	大研2	54	30	30
3	鹿児島国際大学	6	「かごしま学」へのいざない	5/8(日)～ 11/13(日)	5	中研2他	各 70	89	517
		7	郷土の先人についての講座	2/11(土)	1	県民ホール	500	428	
4	第一工業大学	8	機械で声を取り戻す(中止)	7/2(木)	1	大研2	60	0	12
		9	プログラミング超入門	9/3(土)～9/4(日)	2	大学構内	各15	2	
		10	巨大地震に対する安全・安心住宅とは	10/1(土)	1	大研1	80	8	
		11	景観づくりと地域の活性化	11/12(土)	1	中研2	60	2	
5	志學館大学	12	生活の中のリスクマネジメントを考える	8/27(土)	2	中研1	各 30	11	19
				8/28(日)	2		8		
6	鹿児島純心女子大学	13	さわやか健康栄養講座	10/15(土)～ 11/26(土)	4	大学構内	各 40	141	141
7	鹿児島県立短期大学	14	つなぐ・むすぶ・ひらける 知と実践	5/28(土)～ 7/16(土)	8	短大構内	各 60	220	220
8	第一幼児教育短期大学	15	テラコッタ彫刻	6/11(土)～ 6/25(土)	4	短大構内	各 10	27	42
		16	大人のためのピアノ入門	10/22(土)			8	3	
		17	からだに大切な飲み物	7/23(土)	1		10	4	
		18	親子で作ろう～絵本の国のおいしいおやつ～	2/18(土)	1		8	8	
9	鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター	19	シルバー世代のための健康・教養講座	7/9(土)～ 10/1(土)	5	小研1他	各 20	93	203
		20	「かごしま学」公開講義・文化講演会	6/30(木)	1	短大構内	400	110	
10	鹿児島女子短期大学	21	第22回これからの子育て	8/17(水)～ 8/18(木)	2	短大構内	各 30組	107	400
		22	くらしと文化講座	10/1(土)	4	短大構内	30～50	155	
		23	高齢者の健康づくり講座	7/2(土)～ 9/17(土)	5	短大構内	各 30	138	
11	放送大学鹿児島学習センター	24	奄美大島地域における放送大学 鹿児島学習センター公開講座	5/22(日)～ 12/11(日)	4	奄美図書館	各 40	101	446
			「夏目漱石没後100年」「漱石力」の効用, 「文学」の可能性」「経済学の古典から 学ぶ」 鹿児島発酵食品ー製法の特徴と美味し さの秘密ージオパーク:鹿児島の自然と暮 らし	7/10(日)	1	放送大学	80	59	
				8/28(日)	1	加音ホール	135	72	
		25	レトロウイルスHTLV-1の最近の話題 中国福建省でHTLV-1関係疾患を探る 明治維新と西郷南洲翁	2/5(日)	1	放送大学	80	176	
			看護職のための公開講演会	2/26(日)	1		80	38	
12	鹿児島工業高等専門学校	26	かごしま小水力発電セミナー	6/25(土)	1	大研3	各 100	71	147
		27	鹿児島高専のおもしろ実験教室アイスクリーム作りに挑戦	8/12(金)	1	工芸室	10	30	
		28	再生可能エネルギー技術セミナー	9/30(金)	1	大研3	50	46	

(2) 行政機関等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期日	回	会場	定員	受講者数	
								小計	合計
13	県立青少年研修センター	29	作製講座 昆虫クラフト	11/13(日)	2	工芸室	各 40	104	104
				クリスマスミニリース	1				
14	南薩少年自然の家	30	クラフト活動 サンドグラス	10/29(土)	2	工芸室	各 30	26	26
15	県立霧島自然ふれあいセンター	31	クラフト活動 レザークラフトに挑戦	1/22(日)	1	工芸室	40	13	13
16	かごしま産業支援センター	32	小規模事業者・起業を目指している方に役立つ講座	6/4(土)～ 12/3(土)	5	小研1他	各 20	85	85
17	上野原縄文の森	33	チャレンジ縄 縄文人の縄利用と草木染め体験 文体験 縄文人の貝利用と貝輪アクセサリー作り	5/29(日)	2	工芸室他	20	9	18
				2/25(土)			30	9	
18	県立奄美図書館	34	あまみならでは学舎	5/14(土)～ 1/14(土)	8	県立 奄美図書館	各 50	492	548
				35					

(3) 教育団体

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期日	回	会場	定員	受講者数	
								小計	合計
19	鹿児島県マルチメディア教育研究会	36	メディア教育セミナー	8/10(水)	1	大ホール	100	101	101
20	県視聴覚教育研究協議会	37	県放送教育・情報教育研究セミナー	2/3(金)	1	大研2	30	17	17
21	鹿児島県高等学校教育研究会 メディア教育研究部会	38	高等学校視聴覚・情報教育研究セミナー	7/8(金)	1	制作演習室	30	8	8

(4) NPO法人

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期日	回	会場	定員	受講者数	
								小計	合計
22	かごしま遺伝子活用普及協会	39	からだの健康を遺伝子と生活環境から考える	8/27(土)～ 10/16(日)	5	小研1他	各 25	109	109
23	global	40	英語で伝える鹿児島	11/4(金)～ 12/16(金)	5	パ小研1他	各 20	81	81
24	鹿児島ASC	41	1日で覚えるタブレット基礎講座	4/19(火)～ 12/20(火)	5	小研1	各 15	59	59

(5) 自主グループ等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期日	回	会場	定員	受講者数	
								小計	合計
25	kamachi-ya(かまちや)	42	演劇を使って脳と身体をトレーニング!	6/19(日)～ 12/4(日)	3	スタジオ	各 15	23	23
26	鹿児島弁フェスタ実行委員会	43	鹿児島弁フェスタ 講演会 ゴンザのスラブ語辞典,継承活動 の発表・展示 鹿児島弁検定(初級・中級・上級)	7/16(土)	1	大ホール他	5000	5075	
				7/17(日)		大研2他			
27	韻天流天吹塾	44	自作の天吹で音色を楽しむ講座	5/18(水)～ 7/27(水)	5	リハ室2他	各 15	57	57
28	上町健康大学	45	高齢医療の地域サポーター養成講座その2	5/14(土)～ 2/18(土)	5	大研1他	各 80	230	230
29	人材育成修了者による生涯学習講座	46	ふるさと講座「だれでもヨガ教室！」	9/28(水)～ 11/2(水)	4	スタジオ	各 20	34	34
30	鹿児島まちの駅・北薩ブロック	47	中止		5			0	0
31	論語を学ぶ会	48	中止		5			0	0

(6) (1)～(5)の総計

講座数 48 講座

講座回数 137 回

受講者数 8,831 人

3 成果・課題及び受講者の感想(各団体実施報告書からの抜粋)

(1) 成果

- ・ 故郷を知るよい機会になった。生態的自然的観点だけでなく、文化的歴史的な話が聞けて興味深かったなどの感想をいただき、地元である奄美地域に特化した内容に多くの反響があった。
- ・ 訓練的な要素をゲームの中に取り込んだことによって、参加者が楽しみながら「日常生活の中にある無意識」の多さに気づきやすくなった。そして、それらを他者からの指摘や繰り返し行うことで次第に脳が活性化することを体感したのではないかと思います。
- ・ 昨年に比べて、新規の受講者も増え、楽しく制作活動をすることができた。昨年の受講者の口コミで興味を持つ人が増えた。
- ・ 本学教員と鹿児島県で実務に携わっている方々と協働し、学問と実践の両面から考え、異なる分野や地域をつなぐ・むすぶビジネス活動に注目し、市場、心理、会計、工学、教育、実務などの視点から検討した。
- ・ 参加者のアンケートでは85.7%が満足、9.5%がまあまあ満足と答えており、主催者が期待していた親子の絆を深め、子どもの自主性や豊かな感性を育てる遊びの提供ができたのではないかと考える。
- ・ 演者の専門とする古墳時代について、鹿児島県の概要についてだけでなく、現在調査・研究を進めている志布志所在の原田古墳を取り上げて、調査の成果から本古墳をどのように意義づけることができるかを知ってもらえたこと。
- ・ 今後の巨大地震に対する木造住宅の耐震性確保に関して解説→熊本地震の被害調査を経て、問題・課題点が学べ、制震構造の有用性及び制震デバイスの巨大地震に対する効果が学べた。
- ・ 昨年度の成果に基づき講座回数と各回のテーマを検討して行った。結果、定員を超える申込みが有り、当日は欠席者も散見されたが参加者の満足度も高かった。寿k情勢のニーズに合った実施であったと思われる。
- ・ 広報の範囲を鹿児島市内全域に広げた結果、自然の家の事業を紹介するよい機会となった。一人一人に丁寧に対応することができた。その結果、全員が時間内に完成することができた。
- ・ 主催者が目的としていた教養を高め暮らしを豊かにするという目的は、文学・歴史・生活と入った限られた分野であったが、ある程度達成できたのではないかと考える。
- ・ 専門的な内容であったが、平易な言葉による説明内容に反響をいただいた。
- ・ 鹿児島をより深く知っていただけたこと、また、それを英語で海外の方へ伝える術を得たことが何よりも大きな成果であった。参加者が講座を通して繋がれたことは、今後の人間関係をより豊かにするものと思われる。
- ・ 先史時代の焼き物のルーツや製作法や使用法を、東南アジアの現代のタイで作られている土器と比較しながら考えるという内容であったが、参加者から様々な意見や質問をいただいた。やや専門性の高い内容であったが、考古学や関連分野の研究に対する関心を高めるきっかけになったのではないかと考える。
- ・ 筋力を貯え、健康で長生きするためには、毎日欠かさず筋力トレーニングを行う必要性と貯筋運動の正しい方法やその効果についての深めてもらう機会となった。
- ・ 当講座を受講された方は今後、タブレットを使いICTを実生活や災害対策等に活用されることが期待できます。また、サイバーセキュリティについての知識を身に付けることもできたようです。
- ・ 受講者は大変熱心に聴いてくれ、公演後の質問も何人もされて、大いに盛り上がった。ジャックロンドンと椋鳩十の関係については従来あまり知られていなかったが、理解がかなり進んだものと思われる。参加者の人数がもう少しほしかったが、非常に真剣に聞いてもらったので、質の高い講演になったと思う。
- ・ ピザ作りという活動と一緒に取り組む中で、参加者と講座支援学生との交流が図られた。また、親子で楽しく料理に取り組んでいた。
- ・ 上野原縄文の森に来園が難しい方にも体験活動にチャレンジしていただくことで、登園の新たな魅力の発信につながり、興味・関心を喚起することができた。特に第2回目の縄文時代の道具をなるべく使う体験が好評だったので、今後も当園の特色を生かした講座を計画していきたい。

(2) 課題

- ・ 60分という比較的短い時間設定で行ったので、物足りない印象を持たれた受講生もおられたようだった
- ・ 参加者の経験や技能の違いから、グループ分けの必要性を感じた。参加者の年齢の幅があり、取り扱う作品の吟味や選択が容易でなかった。年齢や他の要因でのグループの分け方が課題である。
- ・ 参加の人数を増やせるように告知の強化の在り方を図る必要がある。年齢や場所に応じた対応の方法を増やしていく必要性を感じました。
- ・ 教室規模も適当で、パソコン機器も問題なく作動したが、ご高齢の聴講生の対応のことを考えると、スクリーンについてはもう少し大きいものがあつた方がよかつたかもしれない。
- ・ 初めてのひとと昨年の受講者との作品のレベルに格差が出始めている。初心者コースと経験者コースに分かれての活動を考えていきたい。
- ・ 5回の限られた回数で音をマスターするのは難しいが、今後練習を続ける糸口をみつけだすことが今後の課題ではないか。
- ・ 暑い時期の講座開催なので、特に受講する子どもの健康や安全面に配慮した活動が実施できるように、検討して工夫して実施していきたい。
- ・ 多くの催しを1か所に集中したため、音が響き、語り手の声が聞き取れないとの声があつた。
- ・ 新規や幅広い年齢層の方に参加いただけてよかつたが、定員に満たなかつた。体力的な部分での差が大きく生じたので、個々の能力に応じた対応の仕方を検討していく必要性を感じた。
- ・ 受講者の年齢層に偏りがあつたように見受けられたこと。一般的に見られる傾向かもしれないが、若い年齢層の方々にも興味を持ってもらえるような広報活動が必要と考えている。
- ・ 参加者の動員が課題。高齢者の健康について、こころ、制度、食事、運動、障がいを持つ方への実際の支援など多岐にわたる講座を組み入れているため、受講者からは1つの項目について更に話を聞きたいとか、調理の実習もしてほしいなど発展した講座の開催を希望する意見も寄せられた。次年度に向けて、これらの意見も考慮して、講座回数や内容を検討したい。
- ・ 新規の参加者がなかつた。ピアノは難しいという先入観があるようだ。初心者でも楽しく演奏ができるので広報の工夫が必要であると思う。
- ・ 本年度は参加者が増加しており、昨年度と同程度の参加者と考えていたので驚きました。このことは、健康・遺伝子・病気のキーワードは県民・市民には大変に興味深い話題であることを示していると思います。
- ・ 他の連携講座や生涯学習に類似しないように講座の内容を工夫することが必要であると思っております。
- ・ まちあるきの講座は毎年好評であるが、日中の気温が高い中での開催は、受講者の健康管理上少し心配な面があつたので、開催時間や時間配分などを検討したい。
- ・ 講座実施に関する告知不足により、参加人数が少なかつたことが課題である。積極的な告知効果的な告知方法の検討が必要である。
- ・ 申込みが多かつたので、今後は午前・午後の活動も検討したい。
- ・ 日頃無意識であると単純な動きであることが、演劇的な負荷を与えていくことで、身体コントロールの難しさと、意識を分散させて脳を鍛えていく楽しみを体験してもらえたようです。
- ・ 広報媒体（SNS・新聞。ラジオ等）や設置箇所の拡大、告知時期を早めるなど試みる。
- ・ 英語に不慣れな方も、気軽に参加できるよう広告に工夫することと、もっと講座の中で英語を口にする機会を増やし、英語に慣れていただくカリキュラムを作ることが課題である。
- ・ 参加者が定員を大きく下回つた。より広く情報を周知させるための方法を検討するとともに、参加者のニーズや関心を引きつけるトピックを把握し講座で扱うように、工夫すべきであるかもしれない。
- ・ 年齢層が広く、参加者の様子を見て内容を変更し準備した甲斐があり、よく寝れたら、腰痛が改善した、歩行が楽になったなど聞いた。
- ・ 講座の一番のネタはWi-Fiです。当団体でも使用の多くを回線代が占めているのが現状です。公共施設会場でのフリーWi-Fiが整備されることが望ましいと思います。

(3) 受講者の感想

ア 大学や行政機関等が実施した講座について

- ・ 県内に住みながら、サツマイモや焼酎について知らないことが多かったが、焼酎造りの工程など様々な角度から知識を深めることができた。
- ・ 難しい内容と思ったが、実際は身近な題材で、理解しやすかった。
- ・ 有名な文学を若い頃文庫本で読んだが、今日の講演を聴いて改めて読み直したいと思った。今まで気づかなかったものに気づかせていただき大変充実した時間だった
- ・ 経済学は少し難しかったが興味が持てた。
- ・ 普段口にする味噌や醤油、焼酎などの興味深い話を聴くことができた。黒酢や焼酎のうまみが、工事ひとつでこんなにも違うのかと改めて勉強できた。
- ・ 難しい講座を聴いているように受け取ったが、最終的には楽しく学べた。浮遊と貧困をもたらすことを250年前に考えていたアダムスミスのごさ感銘を受けた。
- ・ 技術の発達は今に至っても完璧にすることは難しい。何らかのリスクを背負って失敗があり、進歩があることを理解した。難しい内容を非常にわかりやすく事例を挙げて説明してくれて大変興味を感じた。

イ NPO、自主グループ等が実施した講座について

- ・ もっと県内の事例発表がほしいという意見や、今年は2事例のパネル発表・PC展示で会った県の視聴覚教材コンクールの発表について、すべての作品が見たいという意見もあった。
- ・ 世間の一般的なテーマでなく、このような遺伝子のような専門的なテーマの話も聞きたい。
- ・ 遺伝子的な部分は少し難しい感じがしましたが、代謝異常につなげて考えるとわがかりやすかったです。脂肪肝と糖尿病をつなげて考えていかなければならないところが勉強になりました。

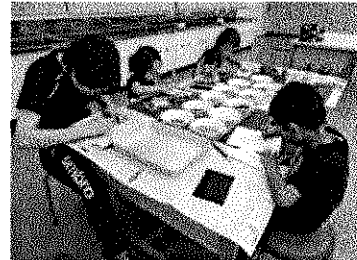
4 講座の様子



「かごしま学」へのいざない
(鹿児島国際大学)



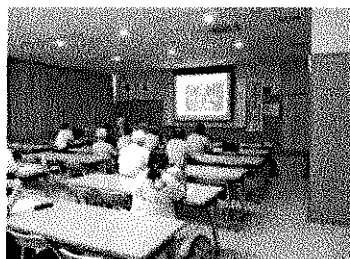
縄文人の繊維利用と草木染め体験
(上野原縄文の森)



サンドアートクラフト活動
(県立南・少年自然の家)



演劇を使って脳と身体をトレーニング
(kamachi-ya<かまちや>)



奄美大島地域における放送大学
鹿児島学習センター公開講座
(放送大学鹿児島学習センター)



一日で覚えるタブレット基礎講座
(鹿児島ASC)

5 総括

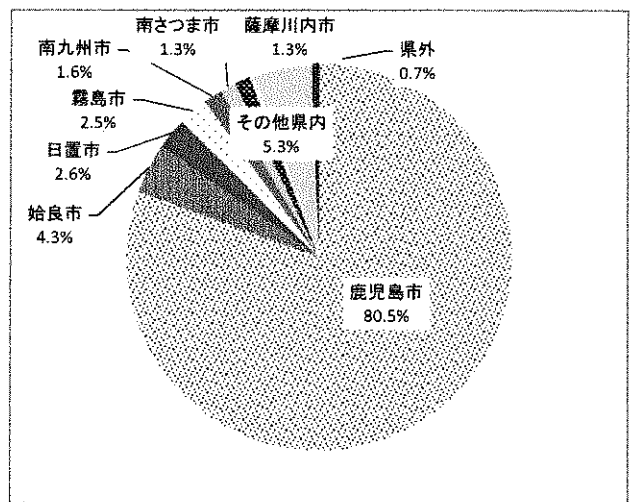
(1) 連携先、講座、受講者の数

連携先		連携先 件数	講座数	実施回数	受講者数
大学等	大学	6	13	27	785
	短期大学	4	8	31	865
	放送大学	1	5	8	446
	高等専門学校	1	3	3	147
行政機関 等	県	5	6	17	709
	市町村	0	0	7	0
	公益財団法人	1	1	5	85
民間教育機関	3	3	3	126	
NPO法人	3	3	15	249	
自主グループ	7	7	28	5,419	
合計	31	49	137	8,831	

(2) 受講の状況(居住市町村別の受講者数)

市町村等	講座の実施時間帯別受講者数					居住市町村別 受講者数	
	平日		土曜日・日曜日		土日 連続	合計	割合
	昼間	夜間	昼間	昼間			
鹿児島市	97	9	303	81	0	490	80.5%
姶良市	9	0	13	4	0	26	4.3%
日置市	4	1	9	2	0	16	2.6%
霧島市	2	0	12	1	0	15	2.5%
南九州市	1	0	5	4	0	10	1.6%
南さつま市	1	0	5	2	0	8	1.3%
薩摩川内市	3	0	2	3	0	8	1.3%
その他県内	7	0	25	0	0	32	5.3%
県外	0	0	4	0	0	4	0.7%
合計	124	10	378	97	0	609	100.0%
割合	20.4%	1.6%	62.1%	15.9%	0.0%		

居住市町村別の受講者数

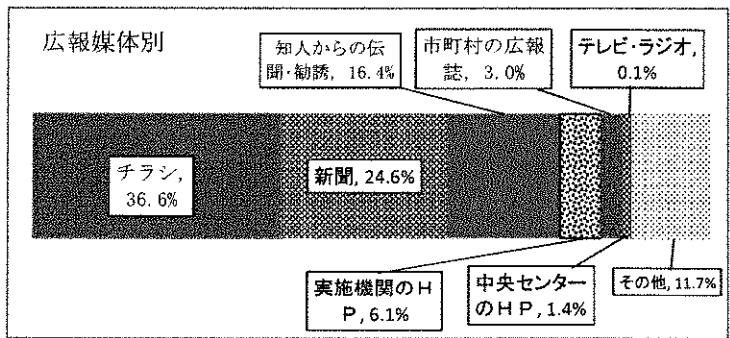


※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果

(3) 講座情報入手の状況

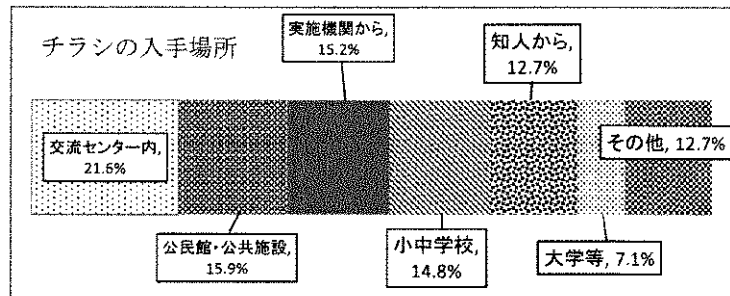
ア 広報媒体別

広報媒体	受講者数	割合
チラシ	254	36.6%
新聞	171	24.6%
知人からの伝聞・勧誘	114	16.4%
実施機関のHP	42	6.1%
市町村の広報誌	21	3.0%
中央センターのHP	10	1.4%
テレビ・ラジオ	1	0.1%
その他	81	11.7%
合計	694	100.0%



イ チラシの入手場所

場所	受講者数	割合
交流センター内	61	21.6%
公民館・公共施設	45	15.9%
実施機関から	43	15.2%
小中学校	42	14.8%
知人から	36	12.7%
大学等	20	7.1%
その他	36	12.7%
合計	283	100.0%



※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果

4 メディア研修講座

1 概要

(1) 趣旨

ア 県民対象研修講座

生涯学習の指導者や指導補助者として教育メディアを活用できる人材を育成するため、チラシづくりやビデオ制作などの講義・実習等を通して、資料作成や情報発信に役立つ知識・技術の習得をめざす。

イ 教育関係者対象研修講座

学校や市町村で「教育の情報化」に対応できる指導者を育成するため、コンピュータやビデオを用いた教材の制作や活用に関する講義・実習等を通して、指導法の改善や学習指導力の向上を図る。

(2) 主催

中央センター（連携講座については、中央センター及び連携先）

(3) 指導者

中央センター指導主事等

(4) 場所

交流センター（西棟5F制作演習室）

2 講座内容・実施状況

(1) 県民対象研修講座 9講座

No	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者	延受講者
1	基礎から学ぶビデオ講座	7/2(土)・3(日)	・効果的なカメラワーク ・ノンリニアビデオ編集 ・ビデオ作品の制作と評価	16	30
2		9/10(土)・11(日)		16	32
3	ふるさとの祭りを撮ろう	11/ 3(木)・27(日)	・撮影の実際 ・ノンリニアビデオ編集 ・ビデオ作品の制作と評価	16	31
4	ふるさと鹿児島をビデオに	5/15・5/22・6/26(日)	・実践者の講話 ・映像構成と撮影の実際 ・ビデオ作品の制作と評価	16	44
5	地域活動応援パソコン講座	6/10・6/17(金)	・広報紙づくりのポイント ・書式設定と画像・図形挿入 ・表計算データベース機能の活用 ・効果的なプレゼンテーションの方法 ・プレゼンテーション資料制作と実際	16	30
6		9/23・9/30(金)		16	32
7		10/14・10/21(金)		17	31
8	レベルアップ！デジカメ講座	4/23(土)・24(日)	・静止面の取り込みと整理 ・画像処理ソフトによる画像の補正・加工と活用	16	32
9	ネット社会に対応した情報モラル講座	7/16(土)	・インターネットによる情報収集 ・情報モラルと情報セキュリティ	24	24
県民対象講座受講者合計				153	286

(2) 教育関係者対象講座 9講座（■教育関係団体との連携）

No	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者	延受講者
1	教育メディア担当者研修会	5/27(金)	・教育メディアに関する講演 ・フリップ事例発表と研究協議	21	21
2	わが町映像発信講座	9/16(金)	・映像素材のを見つけ方 ・ビデオ撮影・編集の実際 ・作品の相互評価	17	17
3	授業に生かせるビデオ教材制作研修講座	8/4(木)・5(金)	・効果的なカメラワーク ・ビデオ教材の制作 ・制作教材の評価	16	31
4	授業に生かせるデジタルコンテンツ制作研修講座	7/28(木)・29(金)	・教育メディア活用の意義 ・静止画・動画コンテンツの制作 ・授業での活用	14	28

5	校務に生かせるICT活用研修講座	8/17(水)・18(木)	・ワードによる文書作成 ・エクセルによる表計算 ・ワード・エクセルの連携	25	50
6	教育メディア研修(中級)講座	8/24(水)～26(金)	・教育メディア総論 ・デジタルデータの活用と統合 ・ビデオ撮影とノンリニア編集 ・プレゼンテーションの実際	5	15
■ 7	メディア教育セミナー(鹿児島県マルチメディア教育研究会)	8/10(水)	・情報教育に関するシンポジウム ・情報教育に関する講演 ・情報教育指導の事例発表	101 (124)	101 (124)
■ 8	県放送教育・情報教育研究セミナー(県視聴覚教育研究協議会)	2/3(金)	・放送教育・情報教育に関する講演 ・放送教育・情報教育に関する実践発表	17 (32)	17 (32)
■ 9	高等学校視聴覚・情報教育研究セミナー(県高等学校情報・視聴覚教育研究会)	7/8(金)	・視聴覚教育に関する講演 ・視聴覚教育に関する研究協議及び実習	8 (13)	8 (13)
教育関係者対象講座受講者合計				224 (267)	288 (331)
メディア研修講座合計				377 (420)	574 (617)



■ 7～9の(数)は、セミナーに参加したスタッフの人数を含めた数

3 受講者の感想等







(1) 県民対象研修講座

- ① 基礎から学ぶビデオ講座
 - 助言を得て実際の撮影を行うことで、カメラの操作技術などを短期間で習得できてよかった。カリキュラムが、初心者にとって頭の整理ができる手順に工夫されていてよかった。
 - 職場の現場研修の材料として、ビデオを取り入れることの重要性を認識できたので、視覚に訴える研修の場で活用したい。
 - 撮りためていた映像を編集しなおし、自分たちの姿を子供に残し、更には孫の成長記録を実りあるものにした。
- ② ふるさとの祭りを撮ろう
 - 撮影はどうあるべきか? 編集はどうあるべきか? どうしたらよりよい作品づくりができるか、本当に勉強になった。
 - 上映会において外部講師の作品の講評が大変参考になった。自分ではよいと思ってもプロの見方を学べたので、よかった。
 - 今回学んだことを地域の諸活動に生かしていきたい。
- ③ ふるさと鹿児島をビデオに
 - 編集のノウハウを習得できたこと、大変喜んでます。今ある映像をどんどん編集したい。
 - 鹿児島で行われる行事や公的なものの制作をしたい。
 - ふるさと鹿児島に関する行事などに興味をもち、また何か作品を制作していきたい。
- ④ 地域活動応援パソコン講座～文書作成編～
 - 講師の説明をききながら、サポーターの方々の手取り足取りの手助けがとてよかった。
 - 町内会活動、ボランティア、プログラム作成、グランドゴルフ成績表等文書作成が楽しみになりました。
 - 職場での役員関係者へのニュース速報版などの発行業務に生かしたい。
- ⑤ 地域活動応援パソコン講座～表計算編～
 - 受講者数に対してサポーター数が十分な点がよかった。受講者の理解度をみながら進行してくださった点がよかった。
 - 会計係で実際エクセルを使っているが、仕組みが分かったので、他の人が作った表の意味を理解できた。これからは少し自信をもって担当していきたい。
 - 情報弱者になりがちな高齢者のお役に立ちたい。これを機会にPCになんて、社会との関わりを続けたい。
- ⑥ 地域活動応援パソコン講座～プレゼンテーション編～
 - いろんな機能を紹介していただき、とてもうれしかったです。分からない所をすぐ個別に教えていただいて、助かりました。とても分かりやすい講座でした。
 - パワーポイントを使った講演会が身近なものに感じられるようになりました。
 - ジオガイド、森林環境教育、自治会等の場で活用したい。



<p>⑦ レベルアップ!デジカメ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジカメによる効果的な写し方、テクニック、色彩の出し方などを学ぶことができた。パソコンへの写真の取り込み、管理の仕方、修正など特に参考になった。 ○ デジカメによる撮影の仕方を工夫したり、撮った写真を加工したりして更に見栄えのする写真にして知人等にプレゼントしたい。 ○ 旅行時の写真撮影がとても楽しみです。また、今までストックしている写真の管理やアルバムの取り込みをやりたいです。 	
<p>⑧ ネット社会に対応した情報モラル講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知らないメールが近頃増えて全て削除していましたが、それでよいか不安でしたが、講座を受けて解決しました。 ○ 練習問題を各単元ごとに取り入れてあり、自分で考えることができ、印象深く認識できた。 ○ ネット上にはいろいろな勧誘があり、どう対処するかとまどう時があるが、そういう場面で今回の研修結果を生かしたい。 	

(2) 教育関係者対象研修講座

<p>① 教育メディア担当者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者・講師情報検索システムや視聴覚教材の予約システムについて知ることができてよかった。今後、公民館講座に「指導者・講師情報」を利用したり、映像教材の利用も増やしたりしていきたい。 ○ 教材の利用促進のためにどうするかなど、話し合いができた。それぞれの立場で無理なく映像のよさをうまく伝えていけたらと思った。 ○ 教育メディアの活用事例を知るよい機会となった。今後、活用できるように検討したいと思いました。 	
<p>② わが町映像発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第一線で活躍されている講師による実際の報道映像を使っでの講演だったので、具体的な話が聞けてとてもよかった。撮影実習で他の方の作品も見ることができて、視点の違いなど非常に興味深かった。 ○ 質疑応答の時間が十分にとれて、自分や他の自治体などの問題を理解することができた。 ○ 学んだ成果を市民向けの講座に反映させていきたいと思えます。 	
<p>③ 授業に生かせるビデオ教材制作研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カメラの撮影時の設定や撮影方法、その効果と注意事項など完璧にマスターしたとは言えませんが、編集のスキルを学ぶことができた。練習して自分のものにしていきたい。 ○ 児童が実際に体験できないことを疑似体験できるツールとして活用したり、思い出として配布する資料作成に生かしたい。 ○ PTAで子どもたちの様子を見ていただいたり、写真のアルバム整理で子どもたちに見せたり、研修の成果を還元したいです。 	
<p>④ 授業に生かせるデジタルコンテンツ制作研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2学期に向けて使える作品ができたり、他のものにも広げられそうな方法が得られたりして、たいへん充実した研修でした。 ○ 2学期からの授業や研究公開の発表等に生かしていきたい。 ○ 今まで、パワーポイントで教材を作るときは、静止画だけでしたが、今回学んだことを生かして、動画でも作成できるようにしたい。 	
<p>⑤ 校務に生かせるICT活用研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何とか使えるけど、いま一つという状況でしたので、たくさんの便利な機能を知ったことで事務処理が早くできそうです。大変ためになりました。 ○ 校務はもちろん、子どもたちのパソコン活用能力も向上させていきたい。 ○ 校務の効率化。事務的な仕事に時間をかけずに、その分の時間を教材研究や学級経営のための時間に使いたい。 	
<p>⑥ 教育メディア研修(中級)講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修時間があつという間に過ぎていくように感じるほど様々な活用の在り方を教えていただいた。こんな教材があつたら便利だと思うものを自作できるように、自分でも少しずつ経験を積みながら技術を磨きたい。 ○ 児童に教材等を通じて還元することはもちろん、同僚の先生方にも伝えるとともに、初級の講師もチャンスがあればぜひやってみたい。 ○ 初級研修の補助に役立てていきたい。 	

5 来所研修

1 趣旨

教育メディアに関する研究テーマや課題をもったグループ・団体又は個人が来所して、職員の指導・助言のもとに、理論研究や操作演習を通して問題解決を図り、併せて教育メディアの利用促進を図る。

2 対象及び内容

来所研修申込兼報告書に必要事項を記入し、提出してもらう。

(1) 自主グループによる来所研修

ア 中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に活動しているグループを対象としている。

イ 平成29年3月現在、5グループが自主的に活動している。
(ビデオ関係3グループ・パソコン関係2グループ)

(2) 県民による個人での来所研修

ア 県民の研修については、原則として中央センターの講座修了者を対象とする。

イ 電話や文書で所属名・研修者氏名・研修内容を連絡してもらい、来所研修申込みを受け付ける。

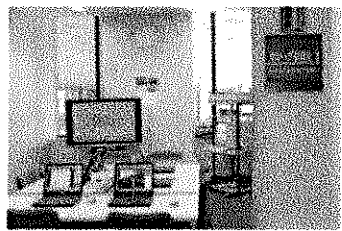
(3) 学校教育・社会教育関係者による来所研修

ア 電話や文書で所属名・研修者氏名・研修内容を連絡してもらい、来所研修申込みを受け付ける。

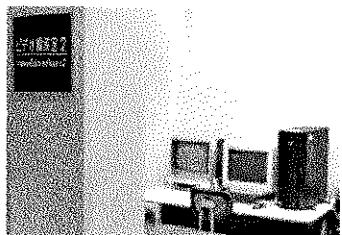
イ 部活動や学級活動など児童生徒が来所研修する場合は、顧問の教員や担当者の同伴を条件とする。



制作演習室



パソコン演習室



ビデオ編集室

3 実施日

原則として、開館日の午前9時～午後5時とする。

ただし、休館日・研修講座開催日・業務に支障をきたすおそれのある日は除く。

4 成果

(1) 地域社会への貢献

各地域の美しい自然や優れた伝統芸能・地域行事等を映像化して、地域公民館や学校・教育関係等へ提供している。

(2) 指導者・サポーターとしての貢献

各市町村で行われる研修会等での指導者や中央センターで行う講座のサポーターとして活躍している。

(3) 県及び全国視聴覚教材コンクールへの出品

来所研修をしている方が制作したビデオ作品やパソコン教材が、県自作視聴覚教材コンクールに毎年多数応募されている。全国のコンクールに出品し、ここ数年高い評価を得ている。

(4) 自主グループ発表会「ふれあいメディアフェスティバル」の実施

自主グループの日ごろの活動の様子や成果を発表し合い、お互いの交流や親睦を図ることによりメディア教育に関する知識や技術の向上が図られている。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	—	124	91	164	147	190	315	166	73	136	212	50	1,668
16	176	160	210	247	108	126	186	131	116	107	216	184	1,967
17	118	236	368	434	158	244	245	178	107	264	446	146	2,944
18	119	137	243	250	427	275	248	311	139	198	165	213	2,725
19	199	147	205	273	358	280	244	313	205	275	239	232	2,970
20	270	152	206	387	188	265	296	266	201	275	349	147	3,002
21	272	166	295	294	245	197	296	393	218	320	323	193	3,212
22	154	135	245	206	152	146	229	244	108	174	238	183	2,214
23	176	174	202	207	150	151	280	318	375	137	355	102	2,627
24	291	205	271	218	175	234	249	274	213	223	359	117	2,829
25	198	167	230	171	123	207	156	181	115	201	119	59	1,927
26	226	190	101	141	122	151	188	177	143	165	164	59	1,827
27	151	177	88	142	34	143	106	234	124	142	158	87	1,586
28	83	82	180	77	41	111	112	167	94	180	158	42	1,327

表 オープン当初からの来所研修による利用状況(平成29年3月31日現在)